

(様式1)

令和6年度 岩手県立大東高等学校 学校評価報告書

校長： 大石 敦子

総括的な評価	複雑化、多様化する社会において、そこで暮らす生徒も、今までにない価値観や考え方をもち、行動するようになってきた。それらの生徒に対し教員も、常に新しい視点で考え、対応していくことが求められる。今年度未達成だった項目に関して、次年度に向けて改善策を掲げ、学校経営力の一層の向上を図りたい。
--------	--

重点目標	達成指標	自己評価		学校関係者評価	改善方策
		評価項目及び実績等	達成状況		
ア 基礎基本の定着と主体的な学びの推進	授業がわかりやすく満足していると感じている生徒の割合【80%以上】	授業評価の1-(1)「授業はわかりやすい」「大変当てはまる」「やや当てはまる」と答えた生徒の割合【97%】	○	<ul style="list-style-type: none"><li>・人数が少ないことで生徒一人一人に目を配ることができているのでは。</li><li>・1学年の評価が低いことが気になる。1学年は他の項目でも2学年、3学年より評価が低い。</li><li>・先生方の努力の成果だと思う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・多様な生徒が増加していく中で、それらの生徒にも伝わる授業になるよう工夫していく必要がある。ICTやBYODを有効に活用しながら、生徒の積極性を引き出す授業を展開していきたい。</li></ul>
イ キャリア教育の充実と生徒の進路希望の実現	希望する進路目標を達成した生徒の割合【大学・短大等 90%以上、就職 100%】	今年度の進路実績において大学・短大等【100%】就職【100%】	○	<ul style="list-style-type: none"><li>・就職、進学状況を見ると、生徒の希望に添ってしっかりと指導いただいていると思う。</li><li>・様々な進路に対応できている。進学→就職、就職→進学など学年途中でも進路が変更できるなど少人数の強みを活かして柔軟な対応や指導が出来ると良い。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・外部機関の主催するセミナー等に積極的に参加しながら、生徒がキャリアについて考える機会を作るとともに、個々の進路希望に応じた、きめ細やかな指導を全職員で進めていく。</li></ul>
ウ 豊かな人間性と社会性の育成	学校や地域が行う体験活動に参加し、達成感や有用感を持った生徒の割合【90%以上】	「学校や地域が行う体験活動に参加し、達成感や有用感を持っている。」に「大変当てはまる」「やや当てはまる」と答えた生徒の割合【75%】	×	<ul style="list-style-type: none"><li>・水かけ祭りへの参加は大変有難く、保存会、地域の皆さんは大変喜んでいただいていた。各部署で祭りを盛り上げてもらった。</li><li>・1年生の1の評価が多いので分析が必要。</li><li>・アンケート後に「水かけ祭り」に全員参加しているので、今評価すれば、数字が上がると思う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・今年度から1、2年生全員で水かけ祭りにボランティアとして参加した。それぞれの活動の実施前の説明や実施後のアンケート等により、生徒が各自が達成感や有用感を感じることができるよう、指導を工夫していきたい。</li></ul>

(様式1)

エ「学校いじめ対策組織」の取り組みを中核としたいじめの未然防止	いじめ防止、早期発見に努めていると答える生徒の割合【80%以上】	「いじめの防止、早期発見に努めている。」に「大変あてはまる」「ややあてはまる」と答えた生徒の割合【74%】	×	・表に見えにくい部分なので、小さなことでも耳を傾けて相談に乗って欲しい。 ・生徒さんからのシグナルを見落とさないようお願いします。 ・大東高校は以前からいじめ防止に積極的に取り組んでいると思っています。これは生徒自身の感じ方もあるかと思います。	・多様な価値観を持った集団の中では軋轢はどうしても発生してしまう。自他を認めて行動するためのソーシャルスキルについて、入学後の早い段階でトレーニングするとともに、定期的にそのスキルの必要性や有用性を確認する機会を設ける必要がある。
オ 地域活動への積極的な参加と地域に貢献する人材の育成	地域をよくするために自分が何をすべきか考えると答える生徒の割合【70%以上】	「地域をよくするために自分が何をすべきか考えることがある。」に「大変あてはまる」「ややあてはまる」と答えた生徒の割合【62%】	×	・ボランティア活動は参加行事も人数も多く頑張っている。 ・自分が何をすべきかまで考えるのは難しいので、様々な体験を通じて考える機会を増やす。 ・ボランティアや地域活動への参加は、生徒の意識を高める良い機会です。	・学校や地域が企画する各種イベントやボランティアに参加するだけではなく、それらのイベントを通じて、自分はどんな貢献をしたのか、地域をさらに盛り上げるためにはどんな工夫が必要なのか等について、考えさせる機会を与えていきたい。
カ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導のない体制の構築	人と違うことが尊重される雰囲気があると感じている生徒の割合【80%以上】	高校魅力化評価で「人と違うことが尊重される雰囲気がある」と答えた生徒の割合【82.5%】	○	・多様性を認める、自尊心を高める雰囲気を大切にしたい。 ・人と違う事が尊重される雰囲気があることは重要な事だと思います。	・複雑化、多様化する社会において互いを尊重しながら行動することの重要性を、授業をはじめ、様々な機会を通じて生徒に伝えることを継続していきたい。